

令和元・2年度 大島地区研究協力校
奄美市立小湊小学校「指導方法改善（国語科）」公開研究会
 令和2年10月27日（火）

学びをつなぐ国語科学習指導

～学ぶ楽しさ、できた喜びを味わえる読むことの学習指導～

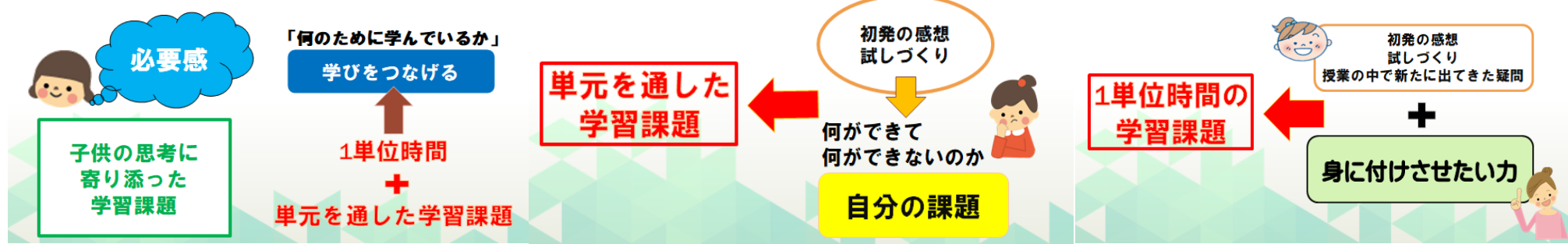
1 研究の実際

視点1：学びに必要感を感じさせる手立て

(1) 学校・学級や子供の実態に応じた学習のゴールの設定



(2) 子供の思考に寄り添った学習課題の設定



視点2：多様な考えに触れさせる手立て

(3) 1単位時間における自分の考えを広げ、深めさせる働きかけ



(4) 単元を通して学びを共有できる働きかけ

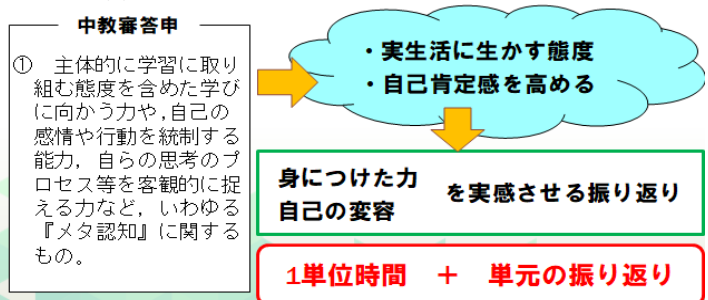


視点3：達成感や成長を感じさせる手立て

(5) 学びの可視化



(6) 身に付けた力を実感できる学習の振り返り



(7) 称賛される場の設定



2 公開授業及び全体会・分科会の様子



全体会Ⅰ（開会行事）



第1・2学年 研究授業



分科会



研究発表



第5・6学年 研究授業



全体会Ⅱ（指導講話）

公開研究会に参加された先生方より

- 子供たちが、積極的に話し合いをしたり、自分の考えを一生懸命書いたりしている姿がすばらしかった。
- 学習のゴールが明確であることで、子供たちが見通しをもち、主体的に活動できていることがよいと思った。
- 紙板書やキャラクター等、具体的な手立てが習慣化され、蓄積されていることがすばらしかった。
- クラスの一員としてキャラクターを用いて、多様な考えを引き出す手立てがとられていることがよかった。
- 研究主題に迫る具体的な取組を見ることができて参考になった。
- 2年間の研究のあしあとや授業を通して、学校全体がチームとなり、全員で取り組んでいることを感じた。
- 言語活動アイデア集やゴールのつみたてカード、語彙表等の資料を、今後活用したいと思う。
- 分科会において、研究協議の時間がもう少しほしかった。